

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄空手会館	対象年度	令和元年度
------	--------	------	-------

【目次】

I. 履行確認		
1. 維持管理業務	2
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
(7) 料金徴収業務		
2. 運營業務	7
(1) 利用実績		
1) 利用者数等		
(2) 運営企画		
(3) 受付・接客		
(4) 広報		
(5) 情報管理		
3. 自主事業	11
II. サービスの質の評価	12
1. 維持管理業務		
2. 運營業務		
3. 自主事業		
4. 総合評価		
III. サービスの安定性評価(財務状況)	14
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価	16
1. 目標		
2. 評価結果		

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄空手会館	対象年度	令和元年度
指定管理者	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 指定期間：平成29年3月～令和2年3月	所管課	文化観光スポーツ部 空手振興課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉 利用者が快適に施設を利用するために、日々の清掃を実施する。		○	3名体制で毎日実施。 施設全てのトイレ・シャワー室は中性洗剤等を用いて毎日清掃。 道場施設、展示施設、特別道場は催事開催前後に清掃を実施する 他、専有利用している時間帯を除き毎日清掃。 駐車場、園路は巡回清掃を実施。	道場施設、展示施設、駐車場、園路の清掃状況を確認するとともに指定管理者へのヒアリング、業務日誌の確認等を実施。 日常清掃は、3名体制により毎日清掃が行われており、各施設は清潔に保たれている。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き衛生管理の徹底に取り組むこと。
〈定期清掃〉 定期的な清掃を実施する。		○	年1回実施。 ガラス、道場施設及び展示施設の床面 (ビニールタイル系、コンクリート・石材系、絨毯)、武道場及び特別道場の床面等を専用の器具、洗剤による清掃を実施	指定管理者の業務日誌の確認等を実施。 定期清掃では、ポリッシュ等を使用するとともに、無垢木材にも配慮した方法で清掃が実施されている。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き衛生管理の徹底に取り組むこと。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p><環境衛生> 施設を安全に運用するために衛生設備の管理を徹底する。</p>		○	<p>残留塩素測定：週1回/ 飲料水貯水槽の清掃・点検：年1回/ 空気環境の測定業務：年6回/ 鼠・昆虫等の除去作業：夏冬の2回/ 水質検査：年1回/ 雑用水水質検査：年6回/ 簡易専用水道検査：年1回</p>	<p>指定管理者へのヒアリング、環境衛生業務の報告書、巡回日誌の確認を実施。環境衛生面では、委託先事業者による定期点検が行われていることを確認した。</p>	<p>報告書のとおり、適切に実施されている。</p>	<p>良好。 引き続き適切な保守点検を実施すること。</p>
<p><設備点検> 電気設備、消防設備の点検等を実施し、管理を行う専門スタッフを配置する。</p>		○	<p>業務委託先であるヤンマー沖縄(株)及び(株)東洋設備による空調点検を実施。受電設備、配電設備、非常用発電設備等の電気設備点検を委託先である沖縄電気保安協会により年6回実施。/消防設備点検：年2回</p>	<p>指定管理者へのヒアリング、報告書、巡回日誌の確認を実施。設備関係では、施設の点検及び報告がされていることを確認した。</p>	<p>報告書のとおり、適切に実施されている。</p>	<p>良好。 引き続き適切な保守点検を実施すること。</p>

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<開館日>		○	8時30分～21時30分の間、常時1名体制による警備を実施。	日常の警備業務を確認した他、指定管理者へのヒアリング、警備日誌の確認を実施。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。引き続き適切な保安・警備を実施すること。
<閉館日>		○	8時30分～17時15分の間（休憩1時間）、1名体制による警備を実施。	開館日及び閉館日の日中には警備員が常駐しており、夜間は室内センサーによる		
<夜間>		○	21時30分～翌8時30分の間、機械警備を実施。また25時頃には巡回点検警備を実施。	機械警備が実施され異常があった場合には警備員が急行する体制が構築されている。		

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1件につき20万円未満の物については指定管理者が実施。		○	道場内搬入口からの雨水浸入対策として舞台横搬入口、道場東搬入口、控室横非常口にウレタン防水塗装を実施／研修室と休憩室間の雨漏り修繕工事／資料室LED照明修繕工事を実施 その他、経年調査を踏まえた瑕疵工事により、建設工事の施工業者による補修を実施した。	補修箇所を確認したほか、指定管理者へのヒアリングを実施。また、経年調査による瑕疵工事においては、修繕箇所を確認。	報告書のとおり、適切に実施されている。	

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
なし	○		<p><指定管理に係る備品> ワイヤレスマイク2本/ダイナミックマイク1本</p>	備品の現物を確認	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。備品の購入に当たっては、必要性について慎重に検討している。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
職員等による防犯、応急手当の訓練実施。AED、救急薬品等の整理。県及び警察、消防等の関係機関を含めた危機管理体制の構築、危機管理マニュアルの整備を実施する。防災訓練を豊見城消防署の指導のもと定期的に実施する。	○		<p>消防設備点検業務委託業者の指導のもと、①消防・避難誘導訓練、消防設備機器の取扱訓練、②展示施設でテロによる火災が発生したことを想定した初期消火活動、避難誘導訓練、館内防火・防災設備の操作訓練を実施。訓練結果について、豊見城消防署に報告した。</p>	指定管理者へのヒアリングを実施し、危機管理マニュアルの整備状況、消防署への報告書を確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。引き続き適切な防犯・防災対策に取り組むこと。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料金、観覧料の収受		○	<p><道場施設> 券売機を設置するとともに、施設使用料については窓口にて職員が料金徴収を行った。</p> <p><展示施設> 券売機を設置し、両替への対応や領収書の発行等については、受付カウンター職員が対応した。</p> <p><屋外鍛錬場、特別道場前庭、特別道場> 管理事務所窓口にて職員が料金徴収を行った。</p>	券売機（道場施設入口、資料室入り口）の設置、稼働状況、収受した現金の管理方法等を確認。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。
1. 維持管理業務 取組改善案	維持管理業務について適切に実施されており、安全・安心に利用できるよう引き続き適切な維持管理に努め、適宜所管課への報告・相談を行う。					

2. 運營業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		平成30年度 実績	事業計画 (目標値)	平成31年度 (令和元年 度) 実績	整合性の検証		現状分析 ・課題	
					前年 比	計画 比		
利用者 数	道場施設	道場 (共用利用)	2,251人	5,335人	2,425人	107.7%	45.5%	目標値に対する達成率の平均は56.1%となっている。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部利用制限を行ったことが利用者数の減に影響している。
		道場 (専用利用)	151団体	198団体	176団体	116.6%	88.9%	
		鍛錬室 (共用利用)	1,159人	1,570人	844人	72.8%	53.8%	
		鍛錬室 (専用利用)	499団体	848団体	444団体	89.0%	52.4%	
		研修室 (専用利用)	617団体	1,053団体	621団体	100.6%	59.0%	
		小会議室 (専用利用)	405団体	1,129団体	420団体	103.7%	37.2%	
	展示施設	一般 (個人)	5,419人	6,878人	5,067人	93.5%	73.7%	目標値に対する達成率の平均は49.1%となっている。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部利用制限を行ったことが観覧者数の減に影響している。
		一般 (団体)	924人	1,460人	803人	86.9%	55.0%	
		高・大学生 (個人)	444人	605人	329人	74.1%	54.4%	
		高・大学生 (団体)	139人	360人	54人	38.8%	15.0%	
		小・中学生 (個人)	949人	1,104人	737人	77.7%	66.8%	
		小・中学生 (団体)	684人	962人	318人	46.5%	33.1%	
		シルバー (65歳以上)	4,309人	5,420人	2,407人	56.0%	45.6%	
計								
					評価 (①利用状況)	C	※道場施設	
					評価 (①利用状況)	C	※展示施設	

【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉 休館日以外	<ul style="list-style-type: none"> ・水曜日 ・12月30日 ～1月3日 	指定管理者へのヒアリングのほか、毎月の月報により確認	報告書のとおり適切に実施されている。 ・臨時開館の実施 (5/1, 7/24, 1/22, 2/19, 2/26) ・開館時間の繰り上げ (6/20, 7/16, 7/23, 7/27, 7/30, 9/7, 9/22, 10/25, 11/30, 1/21, 1/24～1/26, 2/8, 2/9, 2/16, 2/18) ・開館時間の延長(7/5, 11/17, 2/15)を実施	良好 休館日の臨時開館及び開館時間の変更については、引き続き条例に基づき適宜協議すること。
〈開館時間〉 展示施設：9時～18時 展示施設以外：9時～21時	展示施設 9時～18時 展示施設以外 9時～21時			

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p><専用利用> 館内掲示、HPにて随時会館の空き状況を提供する。FAX等にて利用申請受付。前金の支払いにて利用許可としている。</p> <p><共用利用> 空きがある場合は随時受付する。少人数で気軽に利用する機会を提供する。実施にあたっては、安全性を確保した定員数及び基準の利用枠を考慮した設定とし、HPにて随時空き状況をお知らせする。</p>	○		<p><専用利用> 沖縄空手会館利用規程に基づき公平・平等性を基本に提供した。空き状況は、電話対応はもとより沖縄空手会館HPや道場施設屋外掲示板でお知らせしている。利用申請受付は窓口対応をはじめ、FAX及び電子メール等でも対応している。前金の支払いにて利用許可としている。</p> <p><共用利用> 事業計画のとおり対応した。</p>	指定管理者へのヒアリングにより確認	報告書のとおり、適切に実施されている。	概ね良好であるが、予約受付開始日の問い合わせについて、沖縄空手会館利用規程に定められた区分に基づく、より丁寧な説明に努めること。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
国・県・市町村、関係団体、観光業界、マスコミ等との連携	○		<p>新聞、テレビ、ラジオ、雑誌・書籍、WEB等様々な媒体で45件の広報を実施した。</p>	指定管理者へのヒアリングにより確認。OCVB本社と連携した広報、雑誌等への広告掲載等を実施。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。主にパブリシティによる広報であり、海外メディアによる取材対応も多い。引き続き適切な広報に努めること。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>個人情報の漏洩、滅失及び棄損の防止、その他個人情報の適正管理に努める。</p>	○		<p>・職員会議を定期的に行い、懸念事項等を事前にチェックした。</p> <p>・施設予約状況の公開に際しては、催事主催者に対し公表の可否を事前に確認し実施している。</p> <p>・個人情報を含む重要書類については金庫に保管している。また、廃棄に際してはシュレッダーにかけている。</p>	<p>指定管理者へのヒアリングにより確認。</p>	<p>報告書のとおり適切に実施されている。</p>	<p>良好</p>

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
レストラン 【収入】 5,820,000円	○		沖縄そば、かき氷の販売 【収入実績】 1,867,603円	指定管理者へのヒアリングにより確認	事業計画より収入実績が減額している。	自主事業について、その他事業収入以外は計画を下回っている状況である。 ・レストラン事業では、職員が減り安定的な営業時間が確保できなかったことが主要因であるが、新規メニューの開発や県民や観光客への周知方法等を含め、実施内容について検討する必要がある。 ・売店事業においては、酒類販売免許の取得やオリジナル商品の販売等の経営努力の成果が出てほぼ事業計画のとおり適切に実施されている。 ・空手体験教室は、計画比において大幅に下回る結果となった。沖縄伝統空手道振興会とのタイアップによる団体向けの空手体験プログラムをスタートさせたが、利用者や県民、観光客へ広く周知をしていく必要がある。
その他 【収入】 150,000円	○		自動販売機電気料金、施設電気料金等収入 【収入実績】 279,301円		事業計画より収入実績が増額している。	
売店 【収入】 7,720,000円	○		・空手関連グッズの開発として、タオル等を制作・販売。 ・酒類販売免許を取得し、オリジナル空手泡盛を販売開始。 ・JAL・JTAセールス「空手ジェットプラモデル」等を販売。 【収入実績】 7,338,259円		事業計画のとおり適切に実施されている。	
空手体験教室 【収入】 1,000,000円	○		沖縄伝統空手道振興会とのタイアップによる団体向けの空手プログラムを開始。 【収入実績】 154,500円		事業計画より収入実績が減額している。	

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	<p>2. 運営業務 新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、展示施設への来客を促すため、展示物の充実及び企画展の広報活動を行う。</p> <p>3. 自主事業 自主事業については、安定的に運営ができるよう職員の配置の見直しや、利用者及び県民、観光客へ広く周知し、集客を図ること。</p>
-----------------------------	---

Ⅱ. サービスの質の評価

評価項目	第三者（利用者等）評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題
	平成30年度評価 (回答数：31団体)	令和元年度目標	令和元年度評価 (50団体)		
維持管理業務 施設・設備 (備品の充実度)	〈満足度〉 87.1% ・満足 77.4% ・ある程度満足 9.7% ・普通 9.7% ・やや悪い 3.2% ・悪い 0%	〈満足度〉 —	〈満足度〉 96% ・満足 84.0% ・やや満足 12.0% ・普通 4.0% ・やや不満足 0% ・不満足 0%	S	備品については、概ね高い評価を受けているが、利用者のニーズに沿って、備品の充実に向けて県所管課との調整を図りながら、年度ごとに充実を図る。
			〈改善要望〉 ・備品のスクリーンが小さい。 ・マイクスタンドがほしい。		
運営業務 利用条件 (利用した感想)	〈満足度〉 96.3% ・満足 59.3% ・ある程度満足 37% ・普通 3.7% ・やや悪い 0% ・悪い 0%	〈満足度〉 —	〈満足度〉 96% ・満足 58.0% ・ある程度満足 38.0% ・普通 0% ・やや悪い 4.0% ・悪い 0%	S	・受付時に丁寧な説明を行い、利用日も柔軟な対応を行う。
			〈改善要望〉 ・夜21時ジャストに閉館する。少し余裕があるといい。		
運営業務 利用条件 (利用手続き)	〈満足度〉 74.1% ・特に問題なし 74.1% ・普通 18.5% ・問題あり 7.4%	〈満足度〉 —	〈満足度〉 94.0% ・特に問題なし 94.0% ・普通 0% ・問題あり 6.0%	S	・昨年度と比較して大幅な改善がみられた。その要因として、申込み用紙の簡素化の影響が大きいものと思料される。
			〈改善要望〉 ・ネットで予約ができると嬉しい。 ・申込み用紙が1枚で出来たら助かる。		

自主事業 (レストラン・売店)	〈満足度〉 100% ・満足 92.9% ・ほぼ満足 7.1% ・普通 0% ・やや不満 0% ・不満 0%	〈満足度〉 —	〈満足度〉 96.9% ・満足 62.8% ・ほぼ満足 34.1% ・普通 3.1% ・やや不満 0% ・不満 0%	S	・スタッフの対応については、レストラン・売店共に高い評価を受けている。 ・今年度は、レストランにおいて安定的な運営がかなわなかったことから、更なる顧客満足度の向上に向けて、安定的な運営並びに新規メニューの開発が必要なものと思科される。	レストラン及び売店の利用者の満足度は高いが、来館者の利用率が低いいため、県民や観光客への周知方法等をはじめ実施内容について検討する必要がある。
			〈改善要望〉 ・レストランは非常に良くない。メニューが少なく高い。味もあまり特別ではない。			
総合評価 (各評価項目の平均)	〈満足度〉 83.3%	〈満足度〉 —	〈満足度〉 95.7%	評価 (②満足度) S	昨年度と比べ、リピーターが増加したことから、より顧客満足度を向上させる取り組みが重要視される。	概ね利用者からの評価は高いが、要望を踏まえて引き続き改善を図って行く必要がある。利用者の意見をより反映できるよう、アンケートの評価項目の見直し、回収数を上げる工夫を行う必要がある。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

※1：満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合（5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段階の割合、3段階評価の場合上位の割合）

ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準（②満足度）】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度

- S：90%以上
- A：80%以上、90%未満
- B：70%以上、80%未満
- C：70%未満

II. サービスの質の評価 取組改善案	施設の利用に関する満足度は高いが、要望を踏まえ改善を図る。また、アンケート項目の見直しや回収率の向上を図る。
------------------------	--

III. サービスの安定性評価（財務状況）

1. 事業収支

(1) 収入

(千円)

収入項目		平成30年度実績	事業計画	令和元年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	道場施設	10,875	15,205	14,302	131.5%	94.1%	
	展示施設	2,613	3,398	2,168	83.0%	63.8%	
	計	13,488	18,603	16,470	122.1%	88.5%	
指定管理料		63,812	63,583	63,583	99.6%	100.0%	
自主事業収入	レストラン	4,525	5,820	1,868	41.3%	32.1%	
	売店	6,140	7,720	7,338	119.5%	95.1%	
	空手体験教室	162	1,000	155	95.7%	15.5%	
	その他	150	150	279	186.0%	186.0%	
	計	10,977	14,690	9,640	87.8%	65.6%	
合計 (A)		88,277	96,876	89,693	101.6%	92.6%	
(現状分析・課題)							
<p>利用料金収入は、道場施設の稼働率が前年を上回ったため収入実績は前年より増えたものの、展示施設は観覧者数が減ったことから、収入実績が前年及び計画を下回った。</p> <p>自主事業収入については、売店事業及びその他事業が前年を上回ったものの、レストラン事業及び空手体験教室は前年及び計画ともに下回っている。</p> <p>全体としては、前年よりも増となっているが、県民や観光客への周知等を含め、実施内容について検討、改善する必要がある。</p>							

(2) 支出

(千円)

支出項目	平成30年度実績	事業計画	令和元年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
人件費	36,887	40,356	40,137	108.8%	99.5%	
謝金	0	50	17	#DIV/0!	34.0%	
旅費	65	185	107	164.6%	57.8%	
食料費	1	5	6	600.0%	120.0%	
消耗品費	1,093	1,115	639	58.5%	57.3%	
印刷製本費	456	400	67	14.7%	16.8%	
燃料費	22	30	25	113.6%	83.3%	
被服費	0	8	0	#DIV/0!	0.0%	
修繕費	32	130	389	1215.6%	299.2%	
光熱水費	14,367	15,204	14,149	98.5%	93.1%	
商品仕入費	6,420	6,005	7,383	115.0%	122.9%	
通信運搬費	158	251	250	158.2%	99.6%	
広報宣伝費	201	550	32	15.9%	5.8%	
支払手数料	116	280	152	131.0%	54.3%	
販売手数料	0	0	15	#DIV/0!	#DIV/0!	
委託費	22,345	24,173	22,749	101.8%	94.1%	
賃借料	2,583	3,102	3,004	116.3%	96.8%	
備品購入費	150	100	57	38.0%	57.0%	
保険料	230	259	215	93.5%	83.0%	
租税公課費	2,842	3,800	3,469	122.1%	91.3%	
負担金	0	2	0	#DIV/0!	0.0%	
交際費	2	10	5	250.0%	50.0%	
渉外費	0	100	0	#DIV/0!	0.0%	
雑費	13	67	53	407.7%	79.1%	
合計 (B)	87,983	96,182	92,920	105.6%	96.6%	
(現状分析・課題)						
<p>前年よりも支出が増えた理由としては、職員の増員等により人件費が増えたことが主要因である。</p> <p>展示施設の利用料及び自主事業の大幅な増収が見込めないことから、施設利用者が安全かつ快適に利用できるような管理・維持しつつも、光熱水費をはじめ経費節減に努める必要がある。</p>						

2. 経営分析指標

評価指標	平成30年度実績	事業計画	令和元年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支 (C) (収入(A)－支出(B))	294千円	694千円	△ 3,227千円	-1097.6%	-465.0%	
収益率 (事業収支(C)／収入合計(B))	0.3%	0.7%	-3.6%	-1080.3%	-502.2%	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	15.3%	19.2%	18.4%	120.2%	95.6%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	41.9%	42.0%	43.2%	103.0%	102.9%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出(B))	25.4%	25.1%	24.5%	96.4%	97.4%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)／利用者数)	738.5円	807.3円	779.9円	105.6%	96.6%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料／利用者数)	535.6円	533.7円	533.7円	99.6%	100.0%	
(現状分析・課題)						
収入について、自主事業が対前年比で大幅に減となっていることや、支出では職員増員等に伴う人件費の増加が影響し、収益率は△3.6%である。自主事業の改善を中心に収入の増に向けた取組を強化する必要がある。						

評価 (③財務状況)

B

【評価基準 (③財務状況)】

収益率 (事業収支／収入合計)

A : 0%以上

B : -5%以上、0%未満

III. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	自主事業について実施内容を見直すことで、収益率の改善を図る。
------------------------------------	--------------------------------

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置が確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
成果指標	①利用状況	利用者数	137,000人	146,000人	155,000人	164,000人
	②満足度	満足度	90%	90%	90%	90%
財務指標	③財務状況	収益率	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%

2. 評価結果

評価項目	評価指標	平成30年度実績	事業計画(目標値)	令和元年度実績	令和元年度実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	令和2年目標値	
					前年比	計画比					
成果指標	①利用状況	利用者数	119,140人	128,000人	94,561人	79.4%	73.9%	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部利用制限を行ったことが利用者及び観覧者数の減に影響している。	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、展示施設への来客を促すため、展示物の充実及び企画展の広報活動を行う。自主事業については、安定的に運営ができるよう職員の配置の見直しや、利用者及び県民、観光客へ広く周知し、集客を図ること。	137,000人
	②満足度	満足度	83.3%	90%	95.7%	114.9%	106.3%	概ね利用者からの評価は高いが、要望を踏まえて引き続き改善を図って行く必要がある。利用者の意見をより反映できるよう、アンケートの評価項目の見直し、回収数を上げる工夫を行う必要がある。	S	施設の利用に関する満足度は高いが、要望を踏まえ改善を図る。また、アンケート項目の見直しや回収率の向上を図る。	90%
財務指標	③財務状況	収益率	0.3%	0.3%	△3.6%	12.0%	12.0%	収入について、自主事業が対前年比で大幅に減となっていることや、支出では職員増員等に伴う人件費の増加が影響し、収益率は△3.6%である。自主事業の改善を中心に収入の増に向けた取組を強化する必要がある。	B	自主事業について実施内容を見直すことで、収益率の改善を図る。	0.3%
活動指標	④重点取組事項	自主事業(売店・レストラン)	-	-	96.9%	-	-	レストラン及び売店の利用者の満足度は高いが、来館者の利用率が低いため、県民や観光客への周知方法等をはじめ実施内容について検討する必要がある。	S	施設の利用に関する満足度は高いが、要望を踏まえ改善を図る。また、アンケート項目の見直しや回収率の向上を図る。	95%

総合評価	B
------	---

※「現状分析・課題」「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

- S : 110%以上
- A : 100%以上、110%未満
- B : 80%以上、100%未満
- C : 80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

- S : 90%以上
- A : 80%以上、90%未満
- B : 70%以上、80%未満
- C : 70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

- A : 0%以上
- B : -5%以上、0%未満
- C : -5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

- S : 目標を大きく上回る
- A : 目標を概ね達成
- B : 目標を下回る
- C : 目標を大きく下回る

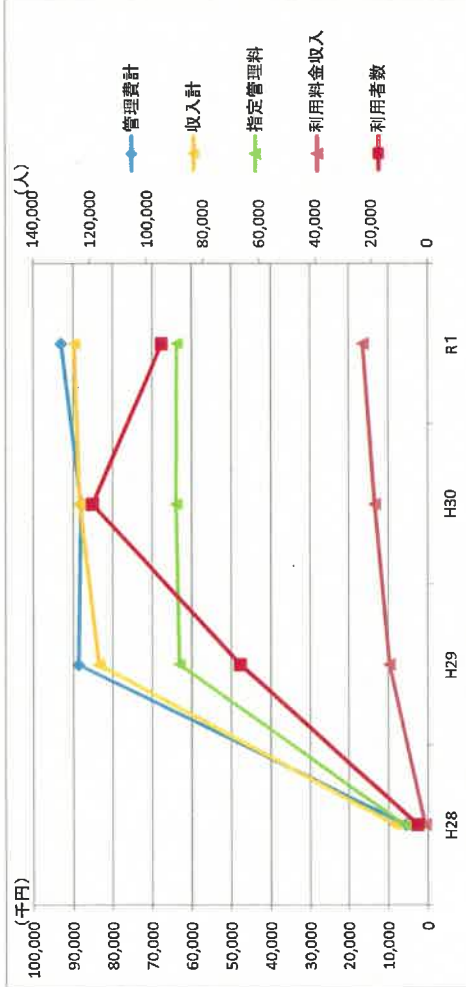
【総合評価基準】	総合評価基準
S	40点以上 <small>かつ各評価項目においてC評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

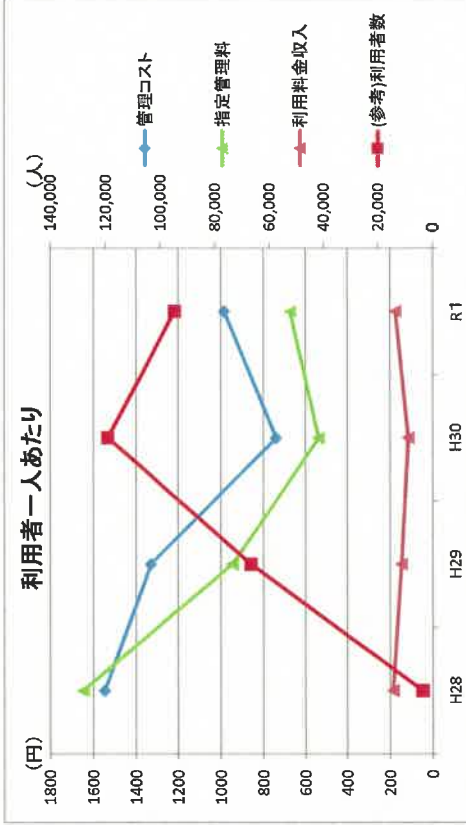
経営状況分析シート【施設名称:沖縄空手会館】

指標	直営										指定管理									
	単位	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
成果指標	利用者数	人													3,560	66,730	119,140	128,000	137,000	146,000
	実績														-	-	119,140	94,561		
財務指標	指定管理料	千円													5	100%	63,812	63,583	#DIV/0!	#DIV/0!
	県負担割合(指定管理料/管理費)	%													5.864	63.000	72.5%	68.4%	#DIV/0!	#DIV/0!
	利用料金収入	千円													106.7%	9,746	13,488	16,470		
	利用料金比率(利用料金/収入計)	%													8.0%	11.7%	15.3%	18.4%		
	収入計	千円													8,302	83,390	88,277	89,693		
	管理費計	千円													5,498	88,619	87,963	92,920		
	収支	千円													2,804	-5,229	294	-3,227	0	
	収支率(収支/収入計)	%													33.8%	-6.3%	0.3%	-3.6%	#DIV/0!	#DIV/0!
	一人あたり管理コスト	円													1544	1328	738	983	#DIV/0!	#DIV/0!
	一人あたり指定管理料	円													1647	944	536	672	#DIV/0!	#DIV/0!
一人あたり利用料金収入	円													186	148	113	174	#DIV/0!	#DIV/0!	



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載

R1年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設の一部利用制限を行ったため、利用者数が減少した。
H30年度	第1回沖縄空手国際大会の開催等もあり、利用者が増加した。
H29年度	実質的に供用開始初年度
H28年度	平成28年3月4日供用開始
H27年度	



目標設定の考え方 ※目標設定の前提や考え方を記載

R1年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
H30年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
H31年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
令和元年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
令和2年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値